

社会福祉士国家試験の在り方に関する検討会開催要綱

1. 趣旨

令和元年度に行われた社会福祉士養成課程の教育内容の見直しは、ソーシャルワークの専門職として、地域共生社会の実現を推進し、新たな福祉ニーズに対応できる社会福祉士の養成を目指したものであり、地域共生社会の実現に向けて求められる社会福祉士の役割や必要な知識等を習得するための科目の創設やソーシャルワーク機能を学ぶ科目の再構築、実践能力を養うための機会である演習や実習の充実等を行ったところであり、令和3年度から養成施設等において順次導入が開始され、令和6年度に行われる第37回社会福祉士国家試験（令和7年2月上旬実施）から新たな教育内容に沿った出題内容に切り替える予定となっている。

また、これまで行ってきた社会福祉士国家試験の実施状況の検証を行い、実施方法の見直しを検討する等、社会福祉士国家試験の更なる向上を図る必要がある。

以上を踏まえ、本検討会においては、第37回社会福祉士国家試験から新たな社会福祉士養成課程の教育内容に対応した出題内容とし、社会福祉士として必要な知識及び技能を有するか適正に評価できるよう、社会福祉士国家試験の在り方について検討する。

2. 検討会構成員

本検討会は、有識者で構成する（別添）。

3. 検討課題

- (1) 社会福祉士国家試験の実施状況の検証
- (2) 社会福祉士養成課程の教育内容の見直しを踏まえた対応
- (3) その他

4. スケジュール

令和3年6月から検討を開始し、以降数回程度開催し、令和3年12月頃を目途に取りまとめ（予定）

5. その他

- (1) 本検討会は、社会・援護局長の検討会とする。
- (2) 本会議の運営にかかる庶務は、社会・援護局福祉基盤課が行う。
- (3) 本検討会の議事は原則非公開とする。報告書は後日公開する。

(別添)

社会福祉士国家試験の在り方に関する検討会構成員名簿

朝倉	京子	東北大学大学院 教授
岩崎	晋也	法政大学 常務理事・副学長
潮谷	有二	社会福祉法人慈愛園 慈愛園老人ホーム・ケアハウス 施設長
志水	幸	北海道医療大学 教授
鶴岡	浩樹	日本社会事業大学大学院 教授
野村	豊子	日本福祉大学スーパービジョン研究センター リサーチフェロー
湯川	智美	全国社会福祉法人経営者協議会 研修委員長
和気	康太	明治学院大学 教授

(五十音順、敬称略)